令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	地域開発チーム WATS		
事業名	高校生が紡ぐ400年の新庄の歴史プロジェクト!おもてなし映像制作事業		
助成事業区分	協働助成事業(テーマ希望型)【テーマ:子どもの健全育成支援事業】		
団体の	新庄市	事業費	516,060 円
所在市町村		うち助成金額	515,860 円
事業実施期間	令和6年6月13日 から	今和7年2月28	日まで

(事業目的)

本事業は、最上地域に住む高校生が主体となり、地域の魅力を地域内外へ発信することを目的とした。特に、人口減少や若者流出が続く中、地域資源の価値を再発見・再評価し、次世代の担い手が自ら地域と関わる機会を創出することを狙いとした。

今回の活動では、外国人ALTとの交流という新たな視点を取り入れ、国際的な視野を持ちながら地元の魅力を伝える経験を通して、高校生自身が地域の課題や可能性を実感し、地域貢献への意識を高めることを目的とした。また、こうした取組を継続的な活動へとつなげることで、地域の観光資源活用や多文化共生への一歩とする。

(実施内容)

- ・地域の伝統や歴史を学び、最上地域を訪れた外国人ALTと一緒にフィールドワークを実施。冬の戸澤神社や雪の里情報館などを案内し、地域資源の魅力を英語でも伝える活動を行った。
- ・活動は高校生がガイドや撮影スタッフとなり、映像や写真として記録。 地域の魅力を紹介する多言語の映像制作にも取り組んだ。
- ・交流を通じて、地元の高校生がALTと英語でコミュニケーションを取りながら、ガイド役としてのスキルやホスピタリティを実践的に学ぶ機会となった。

【実施日】令和6年1月26日

【参加者】高校生8名、外国人ALT4名、撮影スタッフ等を含む計15名 【活動場所】戸澤神社、雪の里情報館ほか【YouTube再生回数】400回





○地域の魅力を多文化の視点から再発見

外国人との交流を通して、高校生は「普段見慣れていた場所も、他者の 目線で見ることで新しい価値に気づく」という体験を得た。

○若者による主体的な地域発信の実践

準備段階から高校生が調査や英語訳、撮影構成などに関わり、自らの言葉と行動で地域を紹介する力が育まれた。参加生徒からは「自分のまちが誇らしく感じた」「観光ガイドの仕事にも興味が湧いた」といった声も聞かれた。

○地域と外部人材の交流の場づくり

ALTからは「こんなに温かく迎えてもらえるとは思わなかった」「また来たい」といった前向きな反応が多く、地域とのつながりを深める一助となった。

今後は、今回の体験を基盤として、継続的な「地域ガイド体験プログラム」や「高校生×インバウンドツアー」の仕組みづくりを目指す。例えば、季節ごとに異なる地域資源(春の花見、夏の川遊び、秋の紅葉など)をテーマに企画を展開し、ALTや地域外の若者との交流の場を定期的に設けていきたい。

また、地域内外から関心を集める映像コンテンツの制作・発信を通じて、若者の目線による観光資源発掘と、地域の新しい価値創出に貢献していく。将来的には、WATSの活動を軸に「若者と地域の共創」を促すプロジェクトへと発展させることを目指している。







団体概要

団体名 地域開発チームWATS 代表者 富澤 洋一 URL

https://www.instagram.com/teamwats/

令和6年度山形県NPO活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	高校生が紡ぐ400年の新庄の歴史プロジェクト!おもてなし映像制作事業	
団体名	地域開発チームWATS	

1 収入の部 (単位:円)

区分	精算額	内容
県補助金	515,860	令和6年度山形県NP0活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入	_	
自己資金	200	
合計	516, 060	

2 支出の部 (単位:円)

		(中)小1)
区分	精算額	内容
謝金	153,000	動画撮影@52,800、スチール撮影@52,800、地域 CM等編集@47,400
旅費	5,000	ロケ地までの交通費等
印刷製本費		募集チラシ等
消耗品•材料購入費	149,050	紙代、撮影消耗品、ワイヤレスマイク、ビデオ三脚、ハンディレコーダー等
通信運搬費	_	
保険料	-	
使用料	23,010	制作、ミーティングルーム使用料
人件費	153,000	スタッフ賃金
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	516, 060	